

型枠支保工 部材等明細書

打設コンクリート 構造物の概要	地上： 階・地下： 階 構造：	設置箇所 設置高さ	設置期間	設 計 荷 重				支柱・梁の 許容支持力 (N)	各部の構造・組立概要
				固定荷重 (N/m ²)	積載荷重 (N/m ²)	m ² 当たり (N)	支柱1本(1枠) 当たり (N)		
構造材料種類	材料、材質及び主要寸法	使用部位							<p>・地盤（基礎）及び支柱支持物の強度の検討 打設済みコンクリートスラブ面に支柱を設置する。 (打設階の下の支柱は取り外さない)</p> <p>・脚部の滑動、沈下防止措置 詳細図 (有) 支柱の最下端にはOKSS-2あるいはOKSS-4を取り付けその下にジャッキベースをハンドルの遊びが無い様に設置する。 水平つなぎの両端のクサビを支柱のフランジにガタの無い様に十分に打込んで設置する。</p> <p>・支柱上端の滑動防止措置 詳細図 (有) 専用大引受けジャッキ (OKSUJ-17T)を建地最上部に差し込み桁材を設置し、その上に大引材を設置する。桁材と大引材は番線固定する。</p> <p>・水平つなぎ、筋違、控え等の措置 詳細図 (有) OKサポートの水平つなぎ材は支柱の下端及び垂直間隔1725mm以下毎に専用部材 (OKSH)をクサビで支柱のフランジに取り付ける。 筋違は専用部材 (OKSB)を最大5スパンに1本の割合で取り付ける。</p> <p>・枠組を支保工とした場合の措置 詳細図 (無) 該当なし</p> <p>・だめ穴型枠の組立 詳細図 (無) 該当なし</p> <p>・型枠段状組立の措置 詳細図 (無) 該当なし</p> <p>・梁の滑動、脱落、横振れ防止措置 詳細図 (無) 該当なし</p>
支柱 式 支 保 工 (支 柱 の 高 さ 三 ・ 五 m 以 上)	単管	JIS規格 3種 G 3444 STK500 φ48.6mm・t=2.4mm	支柱 ○根太 大引						
	角パイプ	JIS規格2種 □ - 60mm×60mm×2.3mm	根太 大引						
		□ - 100mm×100mm×3.2mm	根太 ○大引						
		□ - 150mm×75mm×3.2mm	大引 桁材						
	木材 角材	材質 (米つが材) □ - 90mm×90mm	根太 大引						
アルミ材	I - 180mm×80mm×5mm×7mm	大引 ○桁材							
パイプ サポ ー ト	内管 JIS 3種 φ48.6mm・t=2.4mm STK500	補助サポート φ48.6mm・t=2.3mm ℓ = m 水平つなぎ 有・無 (計画図の通り)							
	外管 JIS 2種 φ60.5mm・t=2.3mm STK400								
	強力サポート	内管 JIS 3種 φ48.6mm・t=2.4mm STK500							
	わく組	建わく 布 枠 水平つなぎ・筋違							床付布枠 有 (計画図の通り)
	三角わく組	組立式三角支柱							
組立鋼柱	水平つなぎ・筋違	有・無 (計画図の通り)							
くさび式組立鋼柱 (OKサポート)	支柱 OKSS-17 φ60.5×2.8×1725mm STK500	支柱 OKSS-12 φ60.5×2.8×1294mm STK500	組立開始 年 月 日 (梁部分)						
	水平つなぎ OKSH-18 φ42.7×2.5×1768mm STK500		解体完了 年 月 日 (床部分)					58,840	
	ブレース OKSB-2318 φ36.4×1809~2332mm STK500								
	ジャッキベース OKSJJ-26 φ37×45~300mm SS400								
	大引受けジャッキベース OKSJJ-26 φ37×45~300mm SS400								
	支柱抜け止めピン OKSBP-2 φ12×104mm SS400 その他								
梁 式 支 保 工	AXビーム		組立開始 年 月 日						
	KKビーム		解体完了 年 月 日						
	その他								